

豊中市子ども読書活動推進計画第1期実施計画

評価報告書

平成22年（2010年）11月

豊中市

はじめに

豊中市における子どもの読書環境づくりは1960年代の子ども文庫の誕生とその広がりから始まります。市立図書館と子ども文庫の連携により、子どものそばにいる大人に本の楽しさ、大切さを伝える活動を中心にすすめてきました。1980年代後半に始まった子どもの読書離れに対して、市立図書館は継続的な読み聞かせボランティアの育成・活動の支援を行いました。また平成5年（1993年）から始まった学校図書館司書の配置は平成17年（2005年）に全校配置が完了し、子どもたちが一日の大半を過ごす学校で、すべての子どもが本にふれる環境が整備されました。

40年に及ぶ子ども読書活動の歴史から、読書は子どもが人として自立して生きていく糧となるものであることを学びました。これを支援するのは公共の役割と位置づけ、子どもがいるすべての場において“本があって、手渡す人がいる”環境づくりをめざし、平成17年（2005年）3月「豊中市子ども読書活動推進計画」を策定しました。この推進計画の理念をもとに、平成18年（2006年）8月、市と市民が協力・連携して子どもの読書に関わる活動（以下「子ども読書活動」という）を具体的に推進していくために、「豊中市子ども読書活動推進計画 実施計画」（以下「実施計画」という）を策定しました。平成18年度（2006年度）から様々な事業に取り組み、年度ごとに事業の検証など、子ども読書活動の評価についても討議を重ねてきました。

さらに平成21年度末には第1期の実施計画終了を機にアンケート調査を行い、4年間の取り組みを経て、豊中市の子ども読書に関わる環境整備がどのように子どもに影響を与えたか評価を行い、報告書として集約することになりました。

子どもの読書環境整備という目的のために子どもに関わる4つの行政部局、市民、民間団体による子ども読書活動推進連絡協議会、ワーキンググループを設置し、協働で事業を行ったことは画期的な取り組みでした。そのことによって行政機関内での横断的な取り組みが展開され、より成果をあげることができたと確信しています。この第1期の成果をふまえて明らかになった課題を分析し、第2期の計画につなげたいと思います。

豊中市子ども読書活動推進連絡協議会 会長 安達みのり

－ 目次 －

はじめに

第1章 第1期豊中市子ども読書活動推進計画実施計画の概要	1
1. 豊中市子ども読書活動推進計画 実施計画の基本方針	1
2. 実施計画の構成	1
3. 実施計画の推進体制	2
4. 実施計画の期間	2
5. 実施計画のサイクル	3
第2章豊中市子ども読書活動推進計画における評価の基本的な考え方	4
1. 評価の主旨	4
2. 評価につながる重要な指標	5
3. 評価の指標 一覧.....	6
第3章 第1期実施計画期間に実施した子ども読書環境整備の評価	7
1. 事業・ネットワーク・情報（ソフトウェア）	8
(1) 全体的な取り組み	8
(2) 領域ごとの取り組み.....	10
(3) 子ども読書活動のネットワーク	19
2. 読書に関わる施設と資料（ハードウェア）	20
3. 子どもに本を手渡す専門職員、その他担い手の意識（ヒューマンウェア）	22
第4章 資料	25
1. 領域ごとの取り組み一覧.....	26
2. アンケートおよび聞き取り調査 単純集計結果.....	57
3. 豊中市子ども読書活動推進連絡協議会.....	82